

議会だより



宇宙への扉 (市民会館プラネタリウム)

松戸市議会基本条例

前文

平成12年のいわゆる地方分権一括法の施行により、国と地方の役割分担が制度上明確化され、地方公共団体の自己決定権が拡大するとともに自己責任の原則が徹底されることになった。

松戸市民の代表である市長及び議会の議員は、市民が地方公共団体の長及びその議会の議員を直接選挙するといふ二元代表制の下、それぞれ市民の負託に応える責務を負っており、住民自治の根幹である議会は、市民の声に的確に応えていくため、議会の持つ監視及び評価の機能をより充実するとともに、政策形成能力の向上を図っていかなければならない。

地方分権の進展による行政運営の変化、市民意識の多様化等、議会に求められる責務は、ますますその重さを増している。このようなかで、市民の代表として議会の今後のあり方を改めて考え、議会の機能の充実、議会の活性化を図り、市民の負託に応えていくことを決意し、ここに本条例を制定する。

第1章 総則(第1条―第4条)
第2章 議会機能の強化(第5条―第9条)
第3章 議会と市長等との関係(第10条―第12条)
第4章 市民と議との関係(第13条―第15条)
第5章 議会改革の継続(第16条)
第6章 議会事務局(第17条)

この条例は、平成21年4月1日から施行する。
附則
本文は、松戸市のホームページからご覧いただけます。

12月定例会

平成20年12月定例会は、12月3日から18日までの会期で開催されました。今定例会では、議員提出議案として、松戸市議会基本条例の制定についてが初日に上程され、可決されました。さらに、市長より提出された議案や、市民から提出された陳情が各常任委員会で審査されました。最終日には、これらの案件のほか、追加議案や議員提出議案が提出され、採決されました(4ページに審議結果を掲載)。なお、市政に関する一般質問は、議員31人が行いました。

就任のご挨拶



第59代議長 松裕人

市民の皆様には、議会活動に対し強力な支援を賜り厚く、御礼申し上げます。私たち両名は、昨年の市議会12月定例会におきまして議長、副議長に就任いたしました。その使命と、責任の重さへの引き締まる思いがたじろぎを受けております。さて、世界同時不況の影響で、我が国経済も深刻なダメージを受けておりますが、私も松戸市の自治体運営にもその影響は少なからず及びものと存しております。このような時であるからこそ、公の担うことを託された私も市議会も、市民が安心して暮らせる地域社会づくりに、今まで以上に総力を挙げて臨まなければならぬと、決意を新たにいたしております。



第59代副議長 田居照康

流れを受けて、松戸市議会は改選後二年の歳月をかけて議会のありかについて議論を重ね、昨年、松戸市議会基本条例を制定いたしました。今後はこれらの取組を活かすため、市議会が市民の負託にしっかりと応えられるよう、議員が一人となってその職責を果たしてまいりますので、市民の皆様におかれましてはより一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

委員会の構成

議会運営委員会 委員長 大井 知敏 副委員長 松井 貞衛 委員 飯箸 公明 渋谷 剛士 宇津野史行 城所 正美 山口 栄作 張替 勝雄 工藤 長谷川 満 中川 英孝	健康福祉常任委員会 委員長 杉浦 正八 副委員長 飯箸 公明 本郷谷健次 委 高木 健 木村みね子 森下 彰司 山由 龍之 高橋 妙子 石川 龍之 佐藤 恵子 杉浦 誠一
総務財務常任委員会 委員長 深山 能一 副委員長 大井 知敏 委 津野史行 諸角 由 張替 勝雄 中田 京 長谷川 満 二階堂 剛 松井 貞衛 岡本 和久 中川 英孝	都市整備常任委員会 委員長 矢部 愛子 副委員長 磯崎 吉弘 委 沢間俊太郎 山口 栄作 渡辺美喜子 桜井 秀三 田居 照康 平林 俊彦 富澤 凡一 伊藤 余一郎 高橋 義彦

議案第48号平成20年度松戸市病院事業会計補正予算(第1回)に関する附帯決議

我々議会は、10年の長きに亘り市立病院の建て替えについて検討してきた。平成11年には病院の早期建て替えを提言し、平成15年には移転建て替えを決定、平成17年には移転建て替え候補地を決定した。しかし、医療制度の改革や診療報酬の改定などにより病院経営が悪化し、これまでの案では財政的見地から実現性が低いとして候補地の白紙撤回が先。平成20年9月定例会に執行部より表明され、本市議会は、病院建て替え計画が頓挫してしまふことは認められず、市立病院の早期建設に関する決議を全会一致で議決したところである。このたび市長から、紙数土地地区画整理組合保留地の66街区約1万1千平方メートルの用地購入案が新たな病院建設候補地として提案された。

JR武蔵野線と総武線が交差し、成田高速鉄道の一般急停車も予定されている東松戸駅に至近距離であり、600床規模の病院が建設可能であること、この局の判断を予定されている早期建設を望む議会としても、審議の過程において、施設規模や駐車場等の付帯施設に関する全体構想が十分に示されたとは言えないが、決断しなければ永久にその選択肢が閉ざされてしまうことから、用地買収に係る債務負担行為を認め、有力な候補地としたものである。

しかし、これからの基本計画策定の中で示される全体構想案の検証を行い、市民に十分な理解が得られるとの確認がとれるまでは、議会としては有力な候補地という認識であることをここに表明するものである。また、現在の市立病院がある地域の方々は、長年の間、市立病院の運営にご協力をいただいており、移転に当たっては、この地域への十分な配慮を要請する。なお、新病院の候補地である当地区は、鉄道交通の利便性は高いもののバス路線や道路交通については、市域全体からみて必ずしも高いとは言えない。利用者の道路交通の利便性や救急患者搬送経路の向上として、新病院に隣接する都市計画道路3・3・7号の持つ意味は大変高いことから開院に合わせた開通を強く求め、市民の命と健康を守るため市立病院の一刻も早い建て替えを願い、ここに決議する。 千葉県松戸市議会

一般質問

12月定例会では、31人の議員が一般質問をしました。一般質問は、定例会で議員が市政の諸問題や将来の見通しなどについて、市の考えを聴くものです。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

質問をした議員（通告順）

城原 正美・飯箸 公明・森下 彰司・木村みね子・山中 啓之・市川 恵一
織原 正幸・杉山 由祥・中田 京・諸角 由美・山沢 誠・名木 浩一
渡辺美喜子・石川 龍之・宇津野史行・佐藤 恵子・工藤 鈴子・松井 貞衛
磯崎 吉弘・高橋 妙子・高木 健・本郷谷健次・張晋 勝雄・二階堂 剛
中村多賀子・深山 能一・渋谷 剛士・高橋 義雄・伊藤余一郎・岡本 和久
谷口 薫

災害用

洋式トイレの現状は

問 災害時、膝が悪い方やがめない方用の洋式トイレの整備状況を伺う。

答 本市の災害用トイレの備蓄状況は、現在2185基あり、そのうち洋式トイレが2066基、和式が120基である。

また、被害状況にもよるが、公共施設のトイレ、あるいは紅葉・東京・埼玉・神奈川の四都県と政令市によるコンビニエンスストア及びファミリーレストラン業者との広域的な協定によるトイレ等の提供もある。平成20年度に実施している防災アシスタメントの結果を踏まえ、対策をさらに充実していきたい。

「エコドライブ実施中」のステッカー活用

問 「エコドライブ実施中」のステッカーを公用車に貼ったり、市民にも配布できないか。

答 本市では、職員全員が行動マニュアルに基づきエコドライブを実施している。八都県市が作成した「エコドライブ実施中」のステッカーを公用車の後部貼り付けた。また、市民へステッカー配布については、「エコドライブ認定制度を研究する中で、エコドライブを実施する意思を示された方におよびするなど、効果的である

新病院建設用地の提案

効性のある配布方法を検討したい。

問 新病院建設用地選定のプロセスと市長の決意は。

答 新病院の改修工事等を行うより、新病院早期建設が優位と判断した。これまでの建設候補地は、交通の利便性に難があり、利便性の高い土地を探していたところ、紙数土地地区画整理組合が保留地を売り出すという情報があり、現地を視察した。道路や鉄道が近く、大変利便性が良いことから、紙数土地地区画整理組合と打診した。市民の命を守る義務があり、早期に新病院建設を、市立病院の機能を高め、地域の中核医療機関として公立病院の使命を継続しなければならぬと考ええる。

江戸川松戸フワワーラインの車椅子対応を

問 フワワーラインのイベント時に、駐車場か会場までの車椅子利用者への利便性を考慮した通行路整備についてどのように考えているか。

答 フワワーラインは江戸川河川敷を利用し、自然と融合を図りながら運営をしており、都市公園のような整備は難しい。しかしながら、イベント時、会場に近づきやすい駐車場の確保や会場に至るまでに障害のない駐車スペースを

小金中学校 来年開校に向けた進捗状況

問 平成21年度開校に向けた小金中学校の工事等の進捗よく状況と課題は。

答 小金中学校は、建て直した第一校舎の足場も取れ、現在内部工事を行っている。既存の第二校舎も外壁、内部改修、トイレ増設、通風工事が施工中であり、約90%出来上がった。工事は、約90%出来上がった。完成、2月中旬検査予定となる。また、グラウンドや付帯施設の整備を含めて2月末には一切の工事が終了となり、四月開校には特に課題はない。

民間住宅を借り上げて市営住宅に

問 大規模修繕等が見込まれる古い市営住宅が順次廃止し、民間借り上げの市営住宅を増やす方向に方針転換の考えは。

答 現在松戸市では、23団地1564戸の市営住宅を管理している。平成10年に降整備した市営住宅は全借り上げ住宅方式に

よる5団地225戸となっている。この方式の特徴は、初期投資が少なく維持管理も必要なく、年度の財政負担の平準化が図れることである。借り上げ住宅方式が直接建設方式か選択は、その都度建設・維持管理のコスト、時代のニーズ等多様な視点でその状況に応じ検討することとなる。

本市図書館にWeb図書館を

問 図書館にWeb（インターネット）図書館を併設してはどうか。

答 ICT社会の発展は、書籍に於いても従来の印刷物がデジタル化されたデジタル情報へ変わりつつある。一方、紙ベースの図書館の良さも十分にあり、両者を併存させるハイブリット図書館が将来の理想の姿の一つと考える。

いずれの媒体であっても、市民ニーズに合わせた情報を提供する必要がある。公立図書館としての責務であることを基本に、インターネット等のICTを活用した図書館のあり方について今後とも研究していきたい。

安全で快適なまちづくり条例等を強化しては

問 重点推進地区での悪質な客引きや点子ブロック上の違法駐輪等をさらに強く取り締まれないか。

答 本条例は、市民のマナー向上を目的として制定されたものであり、悪質な客引きについては、上位の法律等に基づき、警察と連携を密にして対応している。また、犯罪の発生を防止するために、市民、事業者及び関係機関等の相互連携のもと、安全で快適なまちづくりに努めていく。放置自転車対策として、自転車駐留場の整備や移送保管を行っているが、悪質な違法駐輪等は、さらに放置防止指導員の監視を強化し、



安全で快適なまちづくりを

市立病院での快適な入院生活のために

問 看護師の業務は多岐に渡るが、医療に専念できる環境をどう作るか。

答 市立病院では、医療以外の委託業務内容の検討等と行っている。また、清掃等の委託業務は、できることから迅速改善したい。

看護師以外でも可能なサービスは、臨時職員やボランティア移行し、看護師の負担軽減をテーマとして、患者へサービス向上を図る。今後は様々なサービスを検討しながら、すべての人がここに来ようと思わせる病院の理念に基づき、一層の努力をしていきたい。

子どもの居場所づくりについて

問 余裕教室等を利用した、子ども居場所づくりができないか。

答 教育改革事業や国の委託事業を通じて得た成果を踏まえ、学校を核とした地域コミュニティづくり事業を進めている。子どもたち、保護者、地域の要望などの地域課題を、学校を核とした地域で受け止め、解決し改善する。地域教育力、地域の特性や教育力、市民活動団体等の活動を生かしながら、協働の理念も考慮した地域調整を通じて高まるものと期待する。子ども居場所づくりも、このような取組の延長上に位置付け、環境を整ったところから開設したい。

視覚障害のある方への対応を

問 本市のボランティアは、

聴覚障害のある方に字補の配慮をしているが、視覚障害のある方に点子の星表のチラシはできないか。

答 視覚障害のある方に対応できるボランティアは全国に3館と数が少ない。実施するには視覚障害のある方に対して、星座の位置を知らせる効果音、スピーカーの助けをスタッフ等特別な対応が必要となる。また、星座に対する知識がある程度お持ちでない、解説されないという展開がうまくないという声も聞いている。実施するには難しい状況もあるが、研究していきたい。

教員が子どもと向き合える時間を

問 先生方の事務作業の軽減等の改善を進める考えは。

答 教育委員会では、学校の事務の効率化、負担軽減ができる環境を整え、教職員が児童生徒に向き合う時間を創出することを支援し、平成17年度より学校事務支援システムの導入に取り組み、現在は稼働状況等の検証を行っている。21年度から全小中学校で各システムを運用できる準備を進めている。具体的には、学籍、就学情報、入学予定者管理システム、学校徴収金管理システム、中学校給食予約システム等があり、これらのシステムの効率的運用により、事務の軽減を図りたい。

母子健康手帳の交付方法は

問 本市では、妊婦さんへ母子健康手帳を、どのような方法で交付しているか。

答 母子健康手帳は、市役所本庁及び各支所の9か所保健師が直接面談の上、手帳の利用の仕方や母子健康手帳の説明をしながら交付をしている。

また、妊婦さんと手帳を渡すことが、妊婦さんと本市とのお付き合いの始まりであり、妊娠初期の段階で専門職が状況を

入札制度の形態は

問 本市で採用している入札の形態は、どのようなものがあるか。

答 設計金額が1億円以上の建設工事は、制限付き一般競争入札を実施している。

公募型指名競争入札は、原則として設計金額が、建設工事で130万円以上、委託・修繕業務は500万円以上、実施している。

これ以外の工事請負契約、物品購入や業務委託契約などは、指名競争入札及び地方自治法施行令に定める随意契約を行っている。

また、建設工事については、価格と価格以外の要素とを総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式も調査、研究している。

把握し、必要な情報を提供することにより、信頼感を高め、その後の家庭訪問や出産、健診などのサービスを積極的に利用してもらうことに通じていると期待している。

手帳を渡す際、妊婦さんと話をすることにより、より良い出産子育ての一助となり、育児放棄や児童虐待等の深刻な事態を防ぐものとなることを期待している。

平和事業の充実を

問 平成20年度より実施した中学生の平和大使長崎派遣事業の評価を今後伺う。

答 長崎原爆資料館で展示する資料を利用し、展示内容で充実し、森のホールや博物館として開催する考えは。

答 大使たちは、長崎原爆の恐ろしさや悲惨な目をのぞき、平和の尊厳の認識を深めてきた。そして、学び感じた事を周囲に語り伝える役割を着実に果たしている。21年度は一人でも多く体験できるように実施したい。平和資料の展示は、提案も含めた効果的な方法を探るとともに、今後も市民の平和意識の高揚を図る事業を特に若い世代に機会多く提供したい。

がん治療を 住み慣れた地域で

問 市立病院は、地域がん診療連携拠点病院に指定されたが、現在までの取組と今後を伺う。

答 平成20年8月に厚生労働省より、地域間の診療レベルの格差を無くし、がん診療連携の中核となるための拠点病院に指定された。現在、病院内及び地域のがん医療従事者研修、患者、家族や医療機関の相談や支援等を行っている。今後は、緩和ケアの研修会や外来の整備、また地域の医療機関等と共同の診療計画の作成やがん医療水準向上のための院内がん登録等を行い、安心して在宅療養ができるよう、さらに努力していきたい。

病後児も含めた 子育て支援の充実を

問 乳幼児健康支援センター（又施設の）が閉鎖してしまっている。新たな施設の開設に向けて展望が開けているか。

答 休園となった「よこい保育園」に代わる新たな受け入れ施設の確保については、市立病院をはじめ、関係機関と協議調整を行っているところである。この事業は本市の子育て支援の重要事業であることから、平成20年度中少しでも早い時期に開設できるように努力、対応している。

寒風台小学校東側の 早期水害対策を

問 寒風台小学校東側、帯は降雨による水害が頻発に発生していることから、早急な水害対策を講じることはできないか。

答 本地域は、下流部雨水幹線が未整備のため、抜本的な対策を講じていくことができず、今までの

流域の負担を軽減する様々な対策に取り組んで来た。しかし、近年に見られるような豪雨等の突発的な降雨に対応できる状況にはない。今後は、本地域に接するもう一つの河川流域の治水整備の進捗も十分精査し、より効果的な対策を検討するとともに、水害解消に向けて引き続き努力していく。



良い景観を次世代に 引き継ぐために

問 一松戸市景観形成検討委員会からの提言を受け、松戸市景観基本計画案がまとめられたがこの計画策定の目的を伺う。

答 平成15年に国土交通省から「美しい国土の政策大綱」が発表され、全国的取組が示された。本市においても自然、歴史などの豊富な景観資源を活かし、松戸らしい景観づくりを行うことで、住んでよいまち、訪れてよいまちを実現し、次世代に引き継ぐことを目的に景観基本計画の策定に取り組んでいく。景観づくりは行政だけでなく、市民一人ひとりが地域に良好な生活空間を創り、守っていくことが重要と考える。

子どもの 権利条約について

問 子どもの権利条約の推進への取組は。

答 子ども権利条約は、大きく分けて「生存の権利」、「育つ権利」、「守られる権利」、「参加する権利」の4つの権利について定めている。特に、参加する権利の面から、定期的なアンケート等でもその声を聞き、意向を把握して事業に反映させている。また、平

成18年度から子どもたち自らが見聞の事業を企画・実施する運営委員会を発足させた。事業の企画等の役割分担を持つことで、子どもたちの自主性や自発性を養う機会となっている。

緑地保全の取組は

問 本市の里やまボランティアの育成と活動状況は。

答 里やまボランティアの育成は平成15年度の「里やまボランティア入門講座」から始まった。現在までに、松戸里やま応援団グループとして6団体が立上り、行政が間に入って山林所有者から場の提供を受け、緑地保全活動が行われている。活動内容は、初めに不法投棄のゴミの片付けを行い、その後、枯れ木の除去や樹木調査を実施することで、林内の整備を少しずつ進めている。また、森の魅力やアビリティルする活動として、保育園児が森と遊ぶ企画やコンサートを開くなど、地域との交流も年々活発になっている。



市民による里やま保全活動

歳出の構造上の問題点は

問 本市の歳出構造の問題点をどのように考えているか。

答 平成19年度財政健全化判断比率及び資金不足比率において、本市の財政状況及び公営企業の経営状況が健全である結果が出た。財政構造上の問題点としては、経常経費が年々増加し、歳出全体

の8割以上になったことに対し、都市基盤のおよその整備が終了した後は、投資的経費が7%弱しかないことである。特に経常支出比率への影響が大きい義務的経費の人員費、扶助費、公債費の構成比が高い割合になっている。今後、後期基本計画策定における歳出の考え方として、本市の強みと弱みを考慮しながら計画に反映させる考えである。

紙敷土地区画整理事業の 進ちよく状況は

問 工事の進ちよく状況と地区計画の変更によって、予想される効果は。

答 工事の進ちよく率は91%となっており、地区内の工事は平成21年3月には完了する予定である。地区計画の変更により、住宅地区の最低敷地面積を20、から16に変更すること、売却しやすくなり、一層の宅地化の促進が期待できる。なお、再進歩の進ちよく状況については、対象者の約9割が同意し、手続きを終了したところである。同意が得られない組合員に対しては、理事、役員が一丸となり協力を要請している。

小学校給食に ついて

問 小学校給食の委託について保護者への説明会の開催は。

答 本市では、行政改革の中で小学校給食の調理業務民間委託を開始し、平成20年度は16校で実施している。また、委託校の児童保護者に試食会やアンケートを実施したところ、給食の内容についてある学校では試食率の94・6%の方が好評であった。委託となる学校の保護者説明会は、予算の見直しや人事異動から例年2月下旬から3月上旬に行っている。委託校の公表については、保護者の心配や不安を取り除くためにも2月中旬を目途に説明会の開催や保護者への委託の通知を検討する。

の8割以上になったことに対し、都市基盤のおよその整備が終了した後は、投資的経費が7%弱しかないことである。特に経常支出比率への影響が大きい義務的経費の人員費、扶助費、公債費の構成比が高い割合になっている。今後、後期基本計画策定における歳出の考え方として、本市の強みと弱みを考慮しながら計画に反映させる考えである。

県道市川・柏線四号踏切の 歩行者信号機の設置は

問 松戸東警察署では、歩行者の安全を考慮し、歩行者用押しボタン式信号機を平成20年度設置が所として公安委員会へ要望している。信号機設置に向けて、歩行者待機場所の確保や歩道の切下げなどの条件整備を道路管理者と調整中であったと伺っているが、進ちよく状況は。

答 市川・柏線八柱四号踏切の押しボタン式信号機については、千葉県公安委員会、松戸東警察署地元町会長及び関係者の現地立会いが行われ、20年度末を目途に設置する方向で、現在話が進められているところである。

松戸の学校が 目指すものは何か

問 新学習指導要領を進めるにあたり、特に努力しなければならぬことは何か。

答 改訂された新学習指導要領では、小学校で特に国語、算数、体育の授業時間が増え、人間の基礎重視を、また中学校では、特に人生を築く基礎である国語力、体力の強化と理数教育、英語教育の充実が示されている。本市が進めてきた松戸版教育改革は、新学習指導要領の先取りであり、基礎基本を重視した4Rsの取組は成果を上げていく施策である。しかし、新たに示された国語力及び英語重視のことに対応するには、更なる課題ととらえている。

小金原公園の リニューアルについて

問 小金原公園は、地域コミュニティの拠点であると共に、また災害時の指定避難場所でもあった。リニューアルについて伺う。

答 小金原公園は、地域コミュニティの拠点であると共に、また災害時の指定避難場所でもあった。リニューアルについては、保護者の心配や不安を取り除くためにも2月中旬を目途に説明会の開催や保護者への委託の通知を検討する。

は156棟あり、耐震性能などに応じてフルリノベーションし、三期に分けて耐震改修の目標実施時期を定めている。学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす生活の場であり、非常災害時には、地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保が不可欠であると認識している。今後も早期に耐震化が図れるよう努め、安心して学べる環境を構築していく。

紙敷土地区画整理事業の 保留地の処分の方策は

問 リーマンブラザーズ経営破綻後の不動産市況の低迷が予測される中、いかに保留地を処分していくのか。

答 紙敷土地区画整理組合では、先般、保留地担当役員が保留地の一括処分について、大手不動産企業40社を訪問し売り込みをしてみたが、反応は厳しいものがある。返済期日が迫っている中、残保留地の価格、処分方法と再検討中であり、一括処分等の方策も含めて早急に結論を出す予定である。いずれにしても、残保留地すべての処分の見通しについては、非常に厳しい状況におかれていると考える。

学校耐震化の現状と 今後の計画について

問 耐震改修プログラムの各期ごとの改修目標数は、また計画の進捗をどのように把握しているか。

答 耐震改修が必要な学校施設は、平成20年9月1日、本市に対して地権者や支援団体の意向を聞き、古木を迂回した「聞きさんの森道路案」が出され、地権者側の専門家の意見も聞いた。その後新たな道路案が果に提出されたため、検討を中止したが、12月3日地権者と市長による話し合いがなされ、その際、新たな道路改善案が提示された。これについては、市長より早急に検討する旨が指図があり現在進めているところである。期間に限りはあるが地権者と協議を進め、一日も早い通達を目指したい。

都市計画道路 3・3・7号について

問 都市計画道路3・3・7号のその後の対応を伺う。

答 平成20年9月1日、本市に対し地権者や支援団体の意向を聞き、古木を迂回した「聞きさんの森道路案」が出され、地権者側の専門家の意見も聞いた。その後新たな道路案が果に提出されたため、検討を中止したが、12月3日地権者と市長による話し合いがなされ、その際、新たな道路改善案が提示された。これについては、市長より早急に検討する旨が指図があり現在進めているところである。期間に限りはあるが地権者と協議を進め、一日も早い通達を目指したい。



耐震補強された教室

12月定例会 審議結果							
番号	件名	本会議の結果		番号	件名	本会議の結果	
市長提出議案							
第31号	松戸市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	第49号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致
第32号	松戸市民交通傷害保障条例の一部を改正する等の条例の制定について	可決	全会一致	第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	全会一致
第33号	特別職の職員給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	第51号	監査委員の選任について	同意	全会一致
第34号	松戸市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	多数意見	第52号	監査委員の選任について	同意	全会一致
第35号	松戸市生きがい福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	議員提出議案			
第36号	松戸市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	第23号	松戸市議会基本条例の制定について	可決	多数意見
第37号	松戸市公設地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	第24号	2011年に地上アナログテレビ放送を打切るとは延期するよう求める意見書の提出について	否決	多数意見
第38号	松戸市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	多数意見	第25号	「全国一斉学力テスト」の中止を求める意見書の提出について	否決	多数意見
第39号	松戸市病院事業使用料手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	第26号	地域医療・介護を守るため、社会保障費の拡大を求める意見書の提出について	否決	多数意見
第40号	市道路線の廃止及び認定について	可決	全会一致	第27号	消費税増税の中止を求める意見書の提出について	否決	多数意見
第41号	指定管理者の指定について（常盤市民センター及び六実市民センター）	同意	全会一致	第28号	大銀行の貸渋り・貸はがし等の是正を求める意見書の提出について	否決	多数意見
第42号	指定管理者の指定について（総台市民センター）	同意	全会一致	第29号	障害者自立支援法を廃止し、障害者が人間らしく生きる権利を真に保障する新たな総合的な法制度を求める意見書の提出について	否決	多数意見
第43号	指定管理者の指定について（小金原市民センター及び新松戸市民センター）	同意	全会一致	第30号	「食の安全確保」への取組強化を求める意見書の提出について	可決	全会一致
第44号	指定管理者の指定について（生きがい福祉センター）	同意	全会一致	第31号	安心の介護サービスの確保を求める意見書の提出について	可決	全会一致
第45号	指定管理者の指定について（松戸駅東口自転車駐車場ほか53施設）	同意	全会一致	第32号	妊産婦救急医療体制を抜本的に強化するよう求める意見書の提出について	可決	全会一致
第46号	指定管理者の指定について（常盤駅北口第1自転車駐車場）	同意	全会一致	第33号	議案第48号平成20年度松戸市病院事業会計補正予算（第1回）に関する附帯決議について	可決	多数意見
第47号	松戸市土地開発公社定款の変更について	同意	全会一致	陳情			
第48号	平成20年度松戸市病院事業会計補正予算（第1回）	可決	多数意見	第12号	松戸市立保育所の民営化をこどもたちに無理のない形ですめることを求める陳情	取下げ	
				第13号	松戸駅のバリアフリー化促進を求める陳情	継続審査	

議員提出議案第33号「議案第48号平成20年度松戸市病院事業会計補正予算（第1回）に関する附帯決議」を1面に掲載しました。

声の議会だよりをご利用ください。

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に議会だよりを朗読したテープを希望者に貸し出してあります。詳しくは左記までご連絡ください。

松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）
TEL 3833 7111
住所 松戸市五番西3 7 1

意見書提出

地方自治法第99条の規定により国会及び関係行政庁に対し、次の意見書を出しました。

「食の安全確保」への取組強化を求める意見書

安心の介護サービスの確保を求める意見書

妊産婦救急医療体制を抜本的に強化するよう求める意見書

議会選出監査委員

議会選出の監査委員に欠員が生じたことに伴い、新たに選任するため議案が今定例会に提出されました。

諸角由美 小沢暁民

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の一人の任期満了に伴い、選任に同意しました。（敬称略）

長山功

本会議のインターネット放映

本会議の様子は、実際の会議の翌日夜より松戸市のホームページからご覧いただけます。

インターネット放映アクセス件数
12月22件（平成17年6月開設から20年12月末まで）

次回の発行予定は
4月26日（日）です。

編集の窓

新たな年が明け、早一月が過ぎ寒さも一段と厳しい季節となりました。昨年は、早くからインフルエンザがはやり始めました。また、米国発の金融危機により地域経済はさらに厳しい局面を迎えております。

一方、本市におきましては、東松戸駅近くの用地が市立病院移転の有力な候補地として決定するなど、高度で良質な医療の一層の充実に向け大きな動きが出てまいりました。

私達議員も新たな思いを胸に市民一人ひとりが安全・安心に暮らせるまちづくりを目指し、諸問題に全力で対応してまいります。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。

広報委員会

委員長 木村みね子
副委員長 磯山由祥
委員 高橋正幸
谷口照薫
田居美
高橋剛士
諸原吉弘
洪谷幸
廣橋由美
高橋剛士
洪谷幸
廣橋由美

3月定例会の開催予定について
平成21年3月定例会は、2月23日（月）から3月2日（火）を準備される予定です。議決権行使は、2月12日（水）正午までに提出してください。

期日	主な内容
2月23日（月）	招集・本会議（施政方針・議案説明）
24日（火）	常任委員会先議議案審議
27日（金）	本会議先議議案採決
3月2日（月）	本会議（一般質問）
3月4日（水）	常任委員会議案等の審議
5日（木）	常任委員会議案等の審議
9日（月）	予備審査特別委員会
13日（金）	予備審査特別委員会
16日（月）	予備審査特別委員会
17日（火）	予備審査特別委員会
19日（木）	予備審査特別委員会
24日（火）	本会議（議案等の採決）

議会を傍聴しませんか
問合せ先
市議会事務局 TEL(366)7382